

令和2年度
まちづくり活動
アシスト事業報告

地域のお宝再発見「潮見地区史跡八十八ヶ所巡り」
「いっしょにやろやー宝さがしのまち歩き」

豊富な資料と貴重な人材

潮見地区は、松山市の中心部から北へ程よく離れたロケーションで自然にも恵まれ、近隣に多くの商業施設も建ち並ぶ住みよい町です。一方で城を北方から攻め入る敵への戦略として作られた七曲り跡や、遍路道に残された弘法大師にまつわる言い伝えなどの歴史文化遺産も数多くあります。

昔話を伝えてくれる人や、ほのぼのとした絵を提供してくれる人がいて、自然と集まってきた資料を残しておきたいと思ったのが、冊子作りのきっかけとなりました。

目標(ゴール)の設定が、やる気につながる

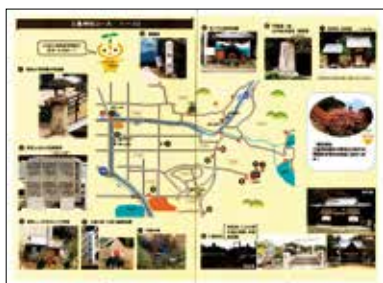
2年かけてすでに集まっていた資料の確認調査をほぼ終了し、編集委員会を立ち上げた後は、地域学習で関わった中学生の意見も取り入れた編集作業。



編集委員会の様子



表紙



冊子抜粋(コースの紹介)

巡行箇所の中には普段目には触れない険しいところもあり、巡行者の興味や体力に合わせた散歩やハイキングのコースとして利用できるよう、8コースと番外編2コースをモデルとして紹介しています。また、「潮見地区史跡八十八ヶ所巡り」巡行完結者には四国遍路にちなんだ結願スタンプを冊子に押捺し、ホームページや地区の広報紙で紹介することになりました。

まだまだ続く活用術

これまで作成してきた冊子と同様に地区の中学校には無償配布し、地域学習の一助としていただきました。



マップ表

また、各地域団体からも健康づくりイベントに活用したいとの要望があり、販売も順調で早くも増刷を余儀なくされています。今後は、各巡行先に史跡看板を順次設置するなど、より分かりやすくなるよう工夫を凝らしているところですが、「行ってきたよ」とクタクタになったマップと冊子を手に結願スタンプを押しながら来られた方の楽しいエピソードや苦労話は、これからの活用方法のヒントになっています。潮見地区のあちこちで、冊子やマップを片手にしたウォーキング姿を見かけられるようになればと思っています。

潮見地区
まちづくり協議会
会長 畑中 俊三

